

# うきは市の「中学校」保護者の皆様へ

～ 令和5年度全国学力・学習状況調査等から ～

令和5年9月

うきは市教育委員会



新型コロナウイルスが5類感染症に移行され、教育活動もこれまでの活動が戻りつつある中、生徒たちは今できることを頑張り、確実に成長しています。一人一人が自分の目標をしっかりと設定して、更に充実した学校生活を送ってほしいと願っています。

さて、下記要領で実施されました全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。うきは市の状況についてお知らせをし、今後、さらに学校、家庭との協力のもと学力向上の取組を進めていきたいと思っております。

## ○ 全国学力・学習状況調査（令和5年 4月18日実施）

### 【学力調査】

- ・中学校3年生250名が受検。国語、数学、英語、学習状況調査の内容については以下の通りです。（英語は、4年ぶり2度目の実施）

### ○ 出題内容

- 国語・・・知識及び技能（言語の特徴や使い方、情報の扱い方、我が国の言語文化に関すること）  
思考力、判断力、表現力等（話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと）
- 数学・・・数と式、図形、関数、データの活用及び知識・技能、思考・判断・表現
- 英語・・・聞くこと、読むこと、書くこと及び知識・技能、思考・判断・表現  
（「話すこと」は1人1台端末を用いたオンライン方式による実施）

### ○ 出題形式・・・選択式、短答式、記述式

### 【学習状況調査】

- ※実態を把握し、対策を考える上で、学力調査と同様にとっても大切な内容のある調査です。  
規範意識（きまりを守ること等）、自尊感情（自分のよいところや自信の持ち方等）、言語活動（自分の考えを説明すること）、生活習慣（早寝、早起き等）、学習習慣（家庭学習）に関するアンケート調査。

## ○うきは市の中学校3年生の学力・学習調査の結果

国語・数学は県・全国平均とほぼ同じ。（資料1参照）

資料1

これまで4年間の国語・数学・英語の標準化得点（全国平均を100として）を見ると、令和5年は国語・数学は全国平均とほぼ同じ、英語はやや下回る結果でした。教科毎に内容を見ますと次のような成果と課題がわかりました。

### 【成果】

- ・国語では、「話すこと・聞くこと」において、県・全国平均とも上回る結果でした。これは、ICTを活用してグループで考えをまとめたり、お互いの意見を共有・比較検討したりする授業を重視した成果だと考えます。
- ・数学「データの活用」領域における「知識・技能」面や英語「日常の会話について、文と文との関係を正確に読み取る」で、県・全国平均を上回る正答率でした。これは、学習内容を習得させるために授業後半に適用・活用問題を解く場を位置付けたことで成果が表れてきていると考えます。

### 【課題】

- ・国語「読み手の立場に立って、叙述の仕方などを確かめる」「言葉の特徴や使い方に関する事項」や英語「社会的な話題について、自分の考えやその理由などを書くこと」について課題が残ります。今後、書く活動の中でいろいろな表現の技法についての理解や活用することを重視する必要があります。
- ・数学「図形」領域における「ある事項が成り立つことを構想に基づいて証明する」について課題があります。今後、考えたことを、根拠を明確にして説明する活動を積み上げる必要があります。

	平成31年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
国語	100	99	100	99
数学	99	101	99	99
英語	98			96

## ○ 生徒質問紙から明らかになったこと

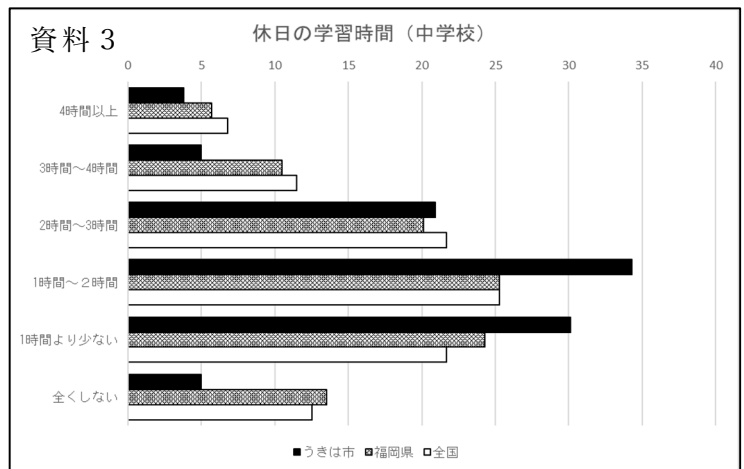
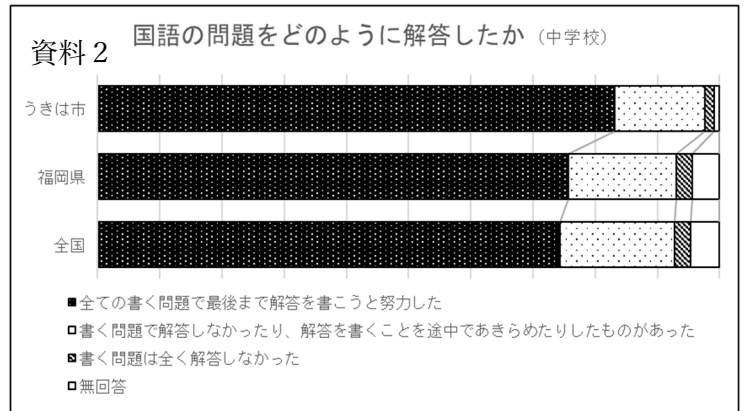
学習状況調査の児童質問紙の中の「今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか。」という質問項目では、「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」が83%で福岡県・全国よりも7.6Pも上回っています。(資料2) このことから、難しい問題にも最後まで解答しようという意欲の高まりが感じられます。

これは、これまでの「書いたり」「説明したり」することを重視した授業づくりを進めてきた成果だと考えられます。

また、「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強しますか」という質問事項で、「全くしない」の割合が福岡県・全国より大きく下回っていることから、家庭での学習習慣が定着しつつあることがわかります。(資料3)

これは、家庭学習の習慣化を図るためにプラスワンノートを活用した取組を継続している成果だと考えられます。

今後も小・中学校で連携した取組を継続することで学力の向上や自己肯定感の向上につなげたいと考えています。



## ○うきは市での学力向上に向けた取組

### ◇小・中学校で連携した取組

- ① 小・中学校をつなぐ「表現すること」を重視した授業づくり
  - 小・中学校で共通して、ICTを効果的に活用し、「根拠をもとに書いたり、説明したり」を重視した授業づくりに日々取り組んでいます。



- ② 小・中学校が連携した学習規律7ヶ条のさらなる徹底を図ります。

### ◇学校と家庭と連携した取組

- ① 小・中学校をつなぐ家庭学習の取組 (習慣化を図るために)
  - 小学校高学年からの宿題に加えて自分の課題に応じて取り組むプラスワンノートを中学校とつないでいきます。
  - ※自分に応じた進め方を考え、実践する力や態度を身につけることができると考えます。



## ○家庭 (保護者の方々) にお願ひしたいこと

- ① 落ち着いて、集中して勉強できる環境をつくりましょう。
- ② お子さんが自分で決めた計画やペースを尊重し、見守りましょう。
- ③ お家の方が、積極的に関わり、見守ったり一緒に調べたりして、大人に見守られている安心感を味わわせましょう